

希望のもてる政策を

炭労の緊急大会、闘争方針きめる

まず労働条件の確保

出炭の拡大は当然だが

①十二月下旬と見られる、石炭の緊急増産に対する答申。②年内にきまる四十九年度の政府予算編成。③第七十二回通常国会の招集。などの情勢のなかから、政府は石炭産業に対する緊急増産を要請してきた。この局面を迎えてどう対処するか、を意図して、生産の拡大はまったく不可能である。生産の拡大はまったく不可能である。生産の拡大はまったく不可能である。

闘いの具体的内容

新労組員とも話し合いを

炭労の緊急臨時大会が決定した。具体的闘いの方針は、概略次の通りである。炭労の緊急臨時大会が決定した。具体的闘いの方針は、概略次の通りである。炭労の緊急臨時大会が決定した。具体的闘いの方針は、概略次の通りである。

師走に思わぬ来訪

佐賀から「まなぶ友の会」

これはまた暗い師走にうれしい話。九日のこと、隣県佐賀から「佐賀まなぶ友の会」の青年労働者が来組。全電通、国鉄、市役所、電機、職定、県評など多岐にわたる職場の人ひとが十六人(女性二人)を多く、佐賀県評の宣伝カーで来組。

石炭鉱業審議会に

向けての闘い

(1)炭労の考えを主張し、必要な問題提起を行う。
(2)中央行動などをもつてアピールする。
(3)答申には、炭労としての意志を明確にする。

国会闘争

(1)総評を中心とする全労働者、国民の要求を対置して闘う。
(2)積極的な石炭政策の石立をめざす。(内容は、前述の諸事項とほぼ同じだから省略)

対資本闘争

(1)対資本の五項目をめぐる闘い、集合交渉を積み重ね、回答をひき出す。
①、十二月十五日までに文書回答を求める。(労働強化を行わず、四十八年度の生産確保) 掘進増強の具体的計画を明示させる。災害の削減、保安対策の確立、災害責任のきびしい自覚を求める。閉山を招かぬよう、坑内水を完全に行わせる。労働条件を改善し、労働力を十分確保する。

②、以上にもとづき、一月下旬をめぐって各支部は要求事項を集約する。
(2)長期換算計画を確立させる闘い、五項目要求を基礎に、長期生産計画を立てさせる。
③、その中に労働条件の向上、生産環境の改善、労働力確保を実現させる。

憲法をくらしの中に

インフレ高物 個人事業税廃止。生活できる年金 退職者に賃金の六割以上の年金。老令福祉 ストップ。大企業 年金を一月三万円に引き上げ、年金のスライド制確立。
路、港湾より、よい医療をやすく、差額ベッド料など高くつく医療の解消。住宅、下水道等 公共病院、保健所を整備し、無独占価格、買占め、売惜しみの 医地帯一掃。救急医療対策の強化。
厳重規制。 零歳児から保育所を、自治体の超過負担をなくして保育所をふやし、心身障害児者に手あつた施策。
住みよい公営住宅 土地の投機を禁止し、自治体の先買、開発許可権を強め、地価抑制、やすき家賃の公共住宅の大量建設。住宅難を解消。
食糧の自給 主な食糧の価格を政府が保障し、農漁業の再建で安心して食べられる、安い食糧の供給。
税金をややすく 二百万円までの所得税減税。住民税もこれに準じて減税。住宅用地の固定資産税減税。中小企業の

許すまい二度の悲劇

十二月八日が示す教訓

古賀組合長

昭和十六年十二月八日の未明であつた。この日日本海軍はハワイの米軍基地——真珠湾に向けて奇襲攻撃を行い、多大の戦果をあげると同時に、日本は対米宣戦布告を行った。
今にして思えばこの日こそが、大東亜戦争という、悪夢のような悲劇の幕開けとなつたのである。
私は当時、軍港・佐世保の街に住んでいた。というより、むしろ国家総動員法により徴用され、佐世保の海軍工廠で強制労働をさせられていたという方が、適切かも知れない。

二十八年八月十五日、ついに終戦の日を迎えたが、その間の一年余の戦闘で、私の同期の五百十六名中、生き残つたのはわずか五百五名だったと記憶している。
私たちの部隊は、バンコク附近のナコン、ナヨークで抑留された。抑留中軍の幹部は、アメリカの民主主義が、わが国民にとっていかに毒害を流す思想であるか、古来万世一系の天皇を戴くわが国は、いかに優れた国体であるか、を説き、帰国からも君主主義を守るために努力しなければならぬ、と教育した。それでも私は、私には、はく然としてではあつたが、その時民主主義は良いものだと思つたが、今十分に見ることができるのである。

あの時自由というものが国民の手のなかにあつたら、民主主義の体制があつたら、あの戦争も、またあの宣戦布告もあり得なかつたろう。
今支配階級は、民主主義の形骸化を著々とすすめている。私たち民主主義の形骸化に反対し司法行、政、教育など、あらゆる分野で民主主義を守る闘いを強めるべきである。あの十二月八日以降積み重ねた悲劇が、つづけている教訓が、そのことを明らかにしている。